



赤磐

平成19年

6

月議会

# 市議会だより

No.9



## も く じ

6月議会のあらまし	2P
委員会のうごき	5P
13人の議員が一般質問	10P
5月臨時会のあらまし	17P
各委員会構成	18P
議長あいさつ・行政視察来庁	20P

# 6月議会の あらまし



建設中の吉井学校給食センター

## 議案審議

6月定例会を、6月8日から6月29日まで、22日間の会期で開催した。報告案件6件を承認、議案10件、議員発議の意見書1件を可決した。また、請願2件のうち1件を継続審査、1件を不採択とし、人事案件4件を審議した。

### 中央図書館 建設工事

**問** 4月の機構改革により入札行為は総務部管財課が取り扱うと思っていたが、教育委員会が取り扱っているがどうなっているのか。

**答** 入札事務は管財課がやっている。

**問** ただ、具体的な業者選定については原課の教育委員会がずっとやってきたことなのでそうした。今後は原課と調整しながら管財課でやる。

**問** 10億円を超えるこの事業に対し6社で入札が行われているがどうか。

**答** より競争性透明性を高めるため公募型をやっ

たが6社しかなかった。

**問** 今回の入札は市長の特認事業として市内業者が優遇されている。この市長の特認事業が副市長にどうしてできたのか。

**答** 特認は今回使用していない。

### 吉井学校給食 センター新築 工事

**問** 特認は使っていないと言っていたが、点数が足りない業者が入っているのではないか。

**答** 工事共同請負制度取扱要綱の中で、基本的にはA級B級とうたっているが、市長が特に認めたものについてはC級も選定の中で構成できることになっている。

給食センターについて

は市内業者の受注機会の確保と育成のためこれを利用した。

**問** 落札率が図書館85・9パーセントに対し給食センターは95パーセントになっている。

**答** 指名業者が少ないのでこのような結果になっているのか。

そもそも、この公募型指名競争入札が適切なのか。

**答** 給食センターは予定価格に対し95パーセントだが、設計額からは87・4パーセントになっており、透明性も確保できている。

### 一般会計予算 繰越明許費

**問** 後期高齢者医療制度創設準備事業の内容・繰

り越し理由・進捗率はどうか。

**答** 75歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度が平成20年4月から施行となるので、準備として住民基本台帳情報提供システムの開発と改修および後期高齢者医療制度保険料の徴収システムの開発になる。

10月に保険料の仮算定ができるようシステム開発と改修を住民基本台帳の電算業務を管理委託している業者に委託する予定である。

繰り越し理由は国の補正予算に対応するもので、広域連合と段階的にシステム調整を進める関係で繰り越したもので、現在の進捗率は約20パーセントである。

**問** 随意契約でやるの

か。入札をすべきである。  
**答** データ管理している業者があり、新規入札するより安いので契約をしたい。

### 防災行政無線 施設整備工事

**問** 今回は公募型指名競争入札ではなくて指名競争入札になったのはなぜか。また談合はなかったというが、その根拠は何か。

**答** デジタル無線はその特殊性から施工実績のある業者は限られており、その中から8社を指名した。

根拠は談合情報が寄せられていないためである。今後早い時期に指名業者を事後公表に切り替えていきたい。

(次のページに続く)



財産区植林管理作業

**問** なぜ入札が5月24日になったのか。  
**答** 実績調査に時間を費やしたためである。

**問** 防災無線は山陽・吉井がパナソニック製であるが、公平な入札ができたのか。  
**答** 今回指名した業者の技術力があればメーカーの壁をこえて統一できることから、他メーカーも入札に参加できるように設計するように設計業者と調整した。

**問** 落札率はどれくらいか。  
**答** 予定価格の88・8パーセント、設計価格の79・99パーセントである。

## 下水道条例

**問** 汚濁防止の排水基準に関して、亜鉛の基準値が強化されたがなぜか。  
**答** 亜鉛は人体から排出されて下水に流入する。人体への影響よりも魚類がえさとする藻場類や

ミジンコ類の成育に影響し、その食物連鎖として魚類の成育にも影響する。そのため、今回規制が強化された。

# 一般会計補正予算

## 遠距離通学支援

**問** 遠距離通学費補助金について、いつ、どこから、どのような要望があつてこの制度ができ、6月議会に提案されたのか。  
**答** 特に保護者からの顕著な要望はなかった。合併以来スクールバスの運行体制等の格差是正が課題となっており、市として早急な方針決定とその実施が求められていた。

そのような中で、小・中学校に通う児童・生徒に遠距離通学支援をすることによって保護者の負担を軽減し、義務教育の円滑な運営に資することを目的に要綱を制定したものである。補助金も支援に公平を帰するためのものである。

**問** 遠距離通学支援補助金の内訳はどうなっているか。  
**答** 支援人数と予算は、山陽地域が77人で147万4000円、熊山地域が12人で5万4000円、吉井地域が3人で1万4000円となっている。

**問** 英語活動等国際理解推進事業について軽部小学校5、6年生が対象に

なったのはどういう理由からか。  
**答** 学校側の強い要望があつたことと、過去に英語活動の導入に力を入れていたこと、市内全体のバランスなどを考慮して決定した。

また、このモデル事業は今回だけか。  
**答** これを機に小学校に英語教育が導入されるようになるのか。

**問** 小学校への英語導入について岡山県下の状況はどうか。  
**答** 県下の実施率のデータはないが、全国では18年度で95パーセント以上。赤磐市では何らかの形で国際理解教育を実施しているということで100パーセントである。

**問** 農地・水・環境保全国境保全向上対策  
**問** 農地・水・環境保全国境保全向上対策交付金はどのような経過でできて、どのような施策に使われるのか。  
**答** 農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図ることを通じて地域振興に資するため、地域ぐるみで行う共同活動のための交付金である。農村集落機能の低下により管理が困難となってきた水路・ため池の機能回復、生態系の保全、住民に安らぎを与える親水空間・景観保全など農村機能の回復保全のための交付金でもある。

この事業は、今回限りの2年間の委託事業である。現在のところ小学校にいわゆる教科としての英語が導入されるかは未定である。

# 特別会計補正予算

## 下水道事業

**問** 行財政改革審議会から18億円の歳出削減計画が示された。そのような中で、山陽処理区の下水道整備事業に影響はないのか。

**答** 短期的で確実性のある3カ年実施計画の中で、優先的かつ計画的に推進するため、歳出削減計画の実施項目には記載していない。

また、下水道事業は特別会計でもある。

**問** 8億円の補正をしてまで今年度前倒し補正をする必要があったのか。

**答** 市内の中でも特に山陽処理区の下水道については、市の中心部はまだ未整備で住環境の遅れも目立つ。

供用開始時期は上流部と下流部では15年間の格

差があり、区長会からも要望があり、市も計画を早めるため前倒し認可を得る必要があると判断し、国にも要請した。

**問** 8億円余の補正予算を組んでいるが、全体的な長期財政計画の上で、福祉・教育に影響は出ないのか。

**答** 国より前倒しとして8億260万円の追加内示があり、これによって事業費を増額した。

実施計画の合計額を上回ると、公債費にも他の事業にも影響が出るため、最終的に実施計画に計上している下水道事業費の枠を超えないようにする。

## 財産区

**問** 杉・ヒノキの造林に関して、花粉症対策はどうなっているのか。

**答** 間伐を適正に行い、花粉の飛散の総量を削減する方法もあると聞いているので研究していきたい。

無花粉の杉への転換も、時間はかかるが今後取り組んでいきたい。



次のとおり、適任とした。

## 人権擁護委員

長光 惠 (山陽2丁目)  
光田 功 (上仁保)  
日笠 誠 (奥吉原)  
釜口 知子 (仁堀中)

## 請願

地方財政に関する意見書採択を求める請願書

(継続審査)

【請願の要旨】 地方共有で共同の財産である地方交付税を一方的に削減しないこと、地方財政計画は社会保障関係経費などが正しく反映されたものであること、自治体の自主性を奪うことなく自主的な再建努力を支援する仕組みを作るようにすること、を政府に要望する。

最低賃金法の抜本改正と均等待遇の実現を求める請願書

(不採択)

【請願の要旨】 低額の最低賃金を抜本的に引き上げるとともに、地域別の不合理な賃金格差を是正し、それをもって中小企業の下請け単価の底支えとし、地域経済の回復と持続的発展をはかることを政府に要望する。

【賛成討論】 最低賃金が生活保護費より大幅に低いということは人間らしい生活ができないということである。全国どこでも誰でも人間らしく生活できる最低賃金にすれば賃金格差も是正できる。よってこの請願に賛成である。

## 意見書提出

道路整備予算の確保に関する意見書

【意見書の要旨】 国民が期待する道路整備に必要な財源を確保すること、道路整備の中期計画を作成するにあたり、国民のニーズと期待に応えるべく道路整備を推進すること、高速自動車道については料金引き下げなど利用者の利便性向上に努めること、道路の安全性・耐久性が確保されるよう効率的な管理を行うこと、を求める。

【提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣  
経済財政政策担当大臣、衆議院議長、参議院議長

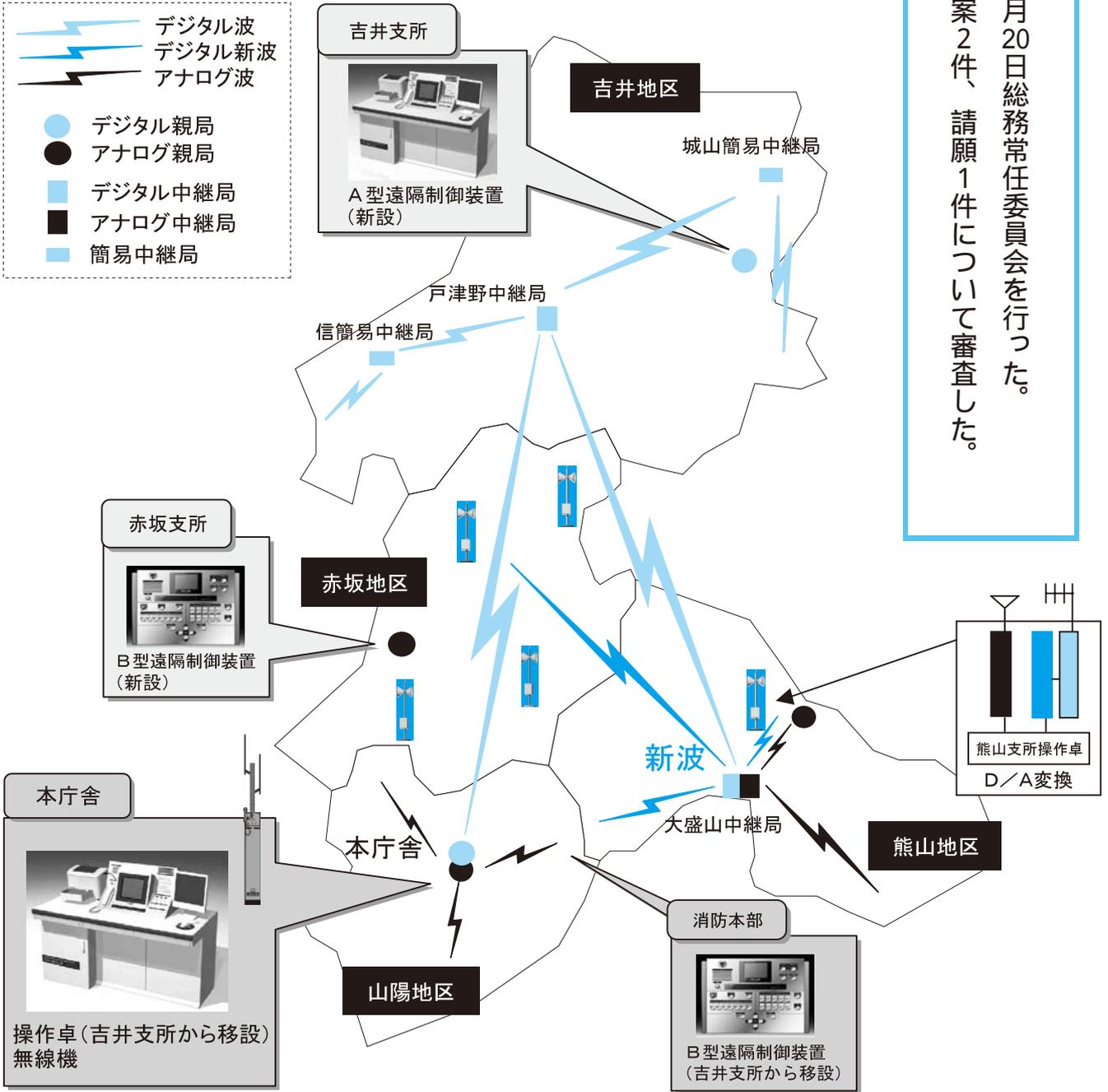
# 防災行政無線 整備概要図

## 総務常任 委員会

### 防災行政無線 整備工事

**問** システム設計の入札時期、落札金額は。  
**答** 平成18年8月4日に5社で実施し、日本農村情報システム協会が820万円で落札した。

6月20日総務常任委員会を行った。  
 議案2件、請願1件について審査した。



**請願**  
 地方財政に関する  
 意見書採択を求める  
 請願書について  
 紹介議員に趣旨説明  
 を求めた。  
 住民の暮らしは、地  
 方交付税だけで守るも  
 のではない。「税金を  
 使って貧困層を生み出  
 すような仕事をさせら  
 れる状況に追い込まれ  
 る」という表現がある  
 が理解できない。  
 「自治体破綻法制」  
 というのも理解でき  
 ない。苦しい中でも生  
 き残っていかなければ  
 ならない。「地方財政  
 が厳しさを増す中で、  
 住民の安心や安全を守  
 るための十分な仕事  
 ができなくなりつつあ  
 る」という表現がある  
 が、お金がないから仕  
 事が出来ないという受  
 け取り、など意見が出  
 たら、結果として、採  
 択、不採択、継続審査と  
 意見が分かれたので、  
 委員会としては引き続  
 き調査研究の必要があ  
 る、との認識のもと、  
 継続審査とした。

# 厚生常任委員会

6月21日厚生常任委員会を行った。  
議案3件について審査した。

## 18年度繰越明許費繰越計算書

### 一般会計

#### 後期高齢者医療制度

**問** 創設準備事業は、一般財源からが多数であるが、補助金はどうなっているのか。

**答** 補助基準額は、基本620万円で、加算額は人口単価が決まっております。基本額と加算額を合わせた2分の1が補助される。

**問** 年金から介護保険料が徴収されたあと、後期高齢者医療の徴収になる

**答** 1年以上の滞納があり、特別な事情がなければ資格証を発行することになる。今後検討していく。

が、滞納者に資格証の発行も考えられるがどう対応するのか。

## 特別会計 国民健康保険

**問** 既存システムの改修はどんなものか。

**答** 国保の既存システムの改修は後期高齢者医療制度に合わせる部分と、新たに前期高齢者については国民健康保険税も年金徴収という制度改正があるので改修が必要になる。

### 後期高齢者医療制度

平成20年4月から創設される新しい医療保険制度で、75歳以上の高齢者が全員加入することになる。広域連合として県単位で運営されるため、現在新システムの構築などの準備事業が進んでいる。

### 介護保険

**問** 国の制度改正に伴うシステム改修であり、国・県がもっと補助すべきと思うがどうか。

**答** 介護保険事業に係る事務費については、基本的に自治体の責務となっている。国のいくらかの助成はあるが、基本的には、市の負担になる。

今後、自治体の負担割合については、全国市長会等で要望していく。

●老人保健制度で医療を受けている人へ  
**新しい** 平成20年4月から  
**後期高齢者医療制度で医療を受けます!**

**対象となる人**  
75歳以上の全員が対象の独立した制度です!

**保険証**  
新しい保険証が1人に1枚交付されます!

**給付**  
給付は老人保健と変わりません!

**保険料**  
保険料は全員が納めます。原則として年金から天引かれます。

これまで保険料負担のなかった健康保険組合などの単独事業者だった人も保険料を納めます。

お医者さんにかかるときの自己負担は、原則1割負担、現役並み所得者は3割負担、と老人保健と変わりません。入院時生活療養費や訪問看護療養費などさまざまな給付も同様受けられます。

岡山県後期高齢者医療広域連合

後期高齢者医療制度パンフレット

**資格証とは**  
健康保険料を一定期間以上滞納すると、正規の保険証にかえて資格証が発行される。その間は、医療費の全額を窓口で支払わなければならない。滞納が解消になれば元の保険証に戻り、立て替えた医療費の差額も支給される。



国保のシステム改修をする端末機

# 産業建設 常任委員会

6月22日産業建設常任委員会を行った。  
議案6件、請願1件について審査した。

## 繰越明許

### 簡易水道特別会計

**問** 簡易水道統合整備事業で、加圧ポンプ場（千駄）の完成予定が9月末とあるが進んでいない理由は何か。

**答** ポンプ場の用地が不足したこと、ポンプが受注生産であり、全体に遅れてきた。

## 条例改正

### 下水道条例

**排水亜鉛は大丈夫か**

**問** 下水道条例の改正案では、亜鉛の排出は、1リットル中に5ミリグラムから2ミリグラムに強化されるが、市内の事業

**所の排水は大丈夫か。**

**答** 水質汚濁防止法の1日当たり50立方メートル以上の排水量の適用となる特定事業所は、市内に22施設ある。事業所の責任において法的管理がなされている。

### 下水関係の検査結果

農業集落排水施設	勢力	0・04	2/27
下水処理場	奥吉原	0・06	2/27
	山陽	0・06	2/27
	熊山	0・03	2/27
	吉井	0・01	2/27
	桜が丘西	0・1	2/27

## 一般会計補正予算

農地・水・環境  
保全国上対策事業

**問** 交付金の使途、対象地域の条件、検証は。

**答** 交付金は、地域活動に要するもので個人に配分するものではない。  
地域の環境保全に向けた営農活動を支援するもので、農振農用地が10ヘクタール以上必要である。地域資源の適切な保全管理活動の年間計画の策定や、農業者以外を含めた地域住民の話し合いによる共同活動の実践などが必要である。条件が満たされれば参加できる。検証は各項目について実施される。

**問** 山口と可真下以外の要望などはあるか。

**答** 他の集落から要望はないが、4年間事業として来年度からもスタートできるように県に働きかけられている。

## 特別会計補正予算

### 下水道事業費

**問** 財政の厳しい中で、8億円の事業費を追加する理由と内容はどうか。

**答** 国より事業に対し3億3千万円補助が追加された。約5億円の起債により事業を行いたい。

下水道事業は長期間を要し、未設地域より1日も早い供用開始が待望されており、実施計画の枠内で事業を早めるものである。

内容は、山陽地域と熊山地域の主に管渠工事関係である。

## 請願

最低賃金法の抜本改正と均等待遇の実現を求める請願書

全国一律に千円以上の要求は現実離れしている。正規社員と臨時やパートなどが一律にというのは、正規社員の立場を無視した考え方であるなどの意見が出され、全員一致で不採択とした。



加圧ポンプ場（千駄）



下水道管渠埋設工事（中島）

# 文 教 常 任 委 員 会

6月8日と25日に文教常任委員会を行った。  
議案3件について審査した。

## 赤磐市立中央図書館建設工 事及び、吉井学校給食セン ターの新築工事請負契約

**問** 請負業者の施工実績はどうか。

**答** 2件の代表者とも、トマト銀行岡山南営業部や、長船町学校給食共同調理場の新築工事の実績

**問** 専任技術者は、代表者・構成員共に必要か。

**答** どちらも一人ずつ必要である。



建設中の中央図書館

## 一般会計補正予算

### 英語活動等国際理解活動推進事業

**問** 「赤磐市小中学校研究指導事業」に軽部小学校が研究指定校になった経緯はどうか。

**答** 市内5中学校プロジェクトに、平成18年度を皮切りに研究会を割り振っている。

英語活動の研究指定は、19、20年度であり、市内のバランスを考え、これまでの実績と研究成果を市内全域に広げる効果等を総合的に判断して決定した。

**問** 研究指定事業の計画表のテーマはどのようにして決めるのか。

**答** それぞれのブロック

の課題について小・中の連携を指示しており、中はブロック単位でよく吟味し取り組んでいる。

**問** 小学校の英語教育に対する教育委員会の姿勢はどうか。

**答** 小学校においては、国際理解教育の一環と捉えている。

中学校での教科としての英語の前倒し導入ではなく、人との交流・体験活動の英会話教育として導入していきたい。

**問** 小学校全体に英語教育を広げていくのか。

**答** 基本的には中学校へ配置しているALTを小学校へ派遣し、できる範囲で充実した英語教育がで

## 通学支援

**問** 遠距離通学支援要綱の通学補助はどのように進めてきたのか。

**答** 最初は、通学用自転車の補助としていたが、それに限定せず通学費の補助とした。

近隣市町村の現況を参考として年額6000円とし、3年間で1万8000円と決めた。

**問** 遠距離通学支援をやる以上は学区の再編をすべきではないか。

**答** 今年から学校の選択制を始めたばかりであり、すぐに再編する考えはない。

再編もふくめて学校統合等も検討する必要があると認識している。

**問** 今回の補正予算のうち、山陽地域の147万4000円は必要か。

学校自由選択制により遠距離通学の子はいなくなっただと思うが、家庭の都合で遠くの学校へ行く



英語活動の研究指定を受けた軽部小学校

**問** のは矛盾ではないのか。

**答** 通学区域の見直しは、学区は現状のまま、もしその学校より近い学校があつた場合に選択できる。

現状は保護者の判断に任せており、学区を変更していないので支援せざるを得ない。

**問** 遠距離通学支援としてバスに乗れなくても、安全対策としては今までどおりバスに乗れるのか。

**答** 安全対策と遠距離通学支援を分けていくのが基本方針である。

現在、対象地区を回って説明している。  
まず、安全対策の啓発が浸透してから同時に対応していく。

## 特別委員会

下水道整備等調査特別委員会および交通問題調査特別委員会を行った。

### 下水道整備等調査特別委員会

下水道事業全般に関する事項を調査するため、次の日程により開催した。

#### 平成17年第1回

平成17年10月12日開催  
**協議事項**  
下水道の現状報告について

下水道工事の進捗状況について  
新下水道構想・下水道計画について

#### 平成18年第1回

平成18年1月17日開催  
**協議事項**  
門前浄化センターアスベスト対策について  
大嘉建設の破産に伴う経過報告について



山陽浄化センター（正面から）



山陽浄化センター（機械設備）

#### 平成18年第2回

平成18年5月29日開催  
**現地視察・協議事項**  
桜が丘西・東地区の下水道施設の移管について

平成18年度下水道事業について  
新下水道構想・下水道計画について  
立川親水公園について  
山陽浄化センターの管理体制について

#### 平成18年第3回

平成18年10月3日開催  
**協議事項**  
下水道整備計画（案）について  
下水道財政計画について

#### 平成19年第1回

平成19年1月25日開催  
**協議事項**  
下水道事業について  
公共下水道事業計画の変更認可について  
下水道財政計画（案）について

#### 平成19年第2回

平成19年7月26日開催

### 交通問題調査特別委員会

交通問題等全般に関する事項を調査するため、次の日程により開催した。

#### 平成18年第1回

平成18年7月14日開催  
**協議事項**  
赤磐市生活交通の現状と問題点について  
他市における生活交通の事例について

#### 平成18年第2回

平成18年11月21日開催  
**協議事項**  
平成19年度交通体系の見直し（案）について  
道路運送法の改正について  
スクールバスについて  
前回の課題事項について

#### 平成19年第3回

平成19年4月16日開催  
**協議事項**  
福祉バスの再編について  
赤坂交通空白地域の生活交通実態調査結果について

#### 協議事項

下水道事業について  
下水道整備計画の変更について

#### 平成19年第1回

平成19年1月19日開催  
**現地視察・協議事項**  
福祉バスの再編について  
利用者ヒアリング調査結果について

#### 平成19年第2回

平成19年2月22日開催  
**協議事項**  
福祉バスの再編について  
赤坂交通空白地域の実態調査について  
遠距離通学支援対策について

#### 平成19年第4回

平成19年6月1日開催  
**協議事項**  
赤磐市遠距離通学支援施策について  
赤坂交通空白地域のバス試行運行について

#### 平成19年第5回

平成19年7月13日開催  
**協議事項**  
赤坂交通空白地域のバス試行運行について  
山陽福祉巡回バスの再編方針について  
遠距離通学支援対策について



市営バス

# 一般質問

## 市の考えを問う

13人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



**問**

汚名返上の対策は万全か  
交通3悪ワースト1位

**答**

行政・市民一丸となり  
不名誉返上に取り組む



佐藤武文議員

**問** 赤磐市は、過去2年間交通3悪ワースト1位と大変不名誉な結果が続いている。

汚名返上の対策が真剣に行われていない。交通安全組織は十分な機能を果たしているのか。

**答** 交通3悪が県内最多であり、大変不名誉な結果である。対策に十分な成果が上がっていない。交通マナーの向上には地域の協力が不可欠であり、啓発活動の見直しを行い汚名返上に向け行政・市民一丸となり、かたい決意を

持って取り組む。

有効活用せよ

山陽ふれあい公園

**問** 若者から高齢者に至るまで定期的なイベントを企画し、有効活用すべきではないか。

開園以来目的を果たしていない場所がある。管理に多額の経費を要するの

**答** 若者から高齢者に至るまで定期的なイベントを企画し、有効活用すべきではないか。開園以来目的を果たしていない場所がある。管理に多額の経費を要するの

も事実であり、一部管理を地区・愛好家に委託してはどうか。公園に花の園は欠かせない。花の好きな人々に花壇園を依頼してはどうか。レストハウスも憩いの場と



山陽ふれあい公園

**問** 特産品の販売もいいのではないか。

**答** スポーツイベントや講習会、研修会等の開催を検討している。施設内の再点検を行い、市民の憩いの場、愛される施設づくりに、地域の人々の協力も視野に、利用価値を高めたい。

### 表紙のひとつ

### さんよう夏祭り

梅雨も明けていよいよ夏本番を迎えた7月28日(土)の夕方、山陽連合町内会による第36回目のさんよう夏祭りが、大勢の人たちの参加により盛大に行われました。盆踊りでは、「備前四つ拍子」や「やよい音頭」などを、いろんな世代の人たちが一つの輪を作り、楽しそうに踊っていました。

暑い夜でしたが、それぞれ思い思いの「楽しい夏の夜」を満喫していました。

問

どう実施する3年間で  
マミズ18億円の削減

答

6月中に素案  
来年度に成案



縦野志郎議員

問 3年間で18億円だから、単純計算をすると今年度は6億円の削減をしなければならぬ。6億円を各課で割るといくらになるのか、それくらいの計画はあると思うがどうか。

対象に事務事業評価制度の説明会を実施し、現在検討作業に取り組んでいる。

答 現在行革推進室で歳出削減計画の素案を作成し、各部署で検討している。昨年度試行した事務事業評価制度を本年度から本格導入し、事務事業の改善や見直しを行っていく。5月末に全職員を

なお素案については、6月中に総務常任委員会に提示し庁内でさらに検討を加え平成20年度当初予算編成前をめどに成案とする予定である。

問 素案を6月中に総務常任委員会に提出することは結構であるが、20年度当初予算編成をめどに成案とするとどうでしょうか、今年度中は何かしな

いと言うことが、今年度の6億円の削減はいつやるのか。

例えば議会には4常任委員会があるが、6億円を4で割ると1億5000万円になる。各委員会へ1億5000万円の削減計画を提出していただければ、キッチリ審議で

行財政改革審議会



きると思うがどうか。

答 当然行革は本年度から3年間であり、行革を進める段階で個々具体的な事業については事務事業評価制度によってその事業の目的の妥当性、有効性、効率性の観点から精査し、その中で廃止とか縮小等があれば本年度から実施していく。

「真水」について

真水とは、歳入の中から国、県の補助金など(依存財源)を抜いた残りの一般財源(自主財源)のことです。

一般財源のおもなものは市税ですが、それ以外にも市の基金(貯金)からの繰入金などもあります。

これからは、繰入金の18億円をあてにせずに予算編成をする事が、審議会から求められています。

問 青少年の健全育成を

答 ボランティアリーダー講座を開催する



実盛祥五議員

だと考える。各地で行われている映画会の内容の検討、地域で中学生が利用できる公民館活動をつくることも必要ではないか。

中学生を対象にした公民館での講座を企画する事についてどう吟味しているか。

答 教育委員会としては地域での受け皿を青少年の居場所ととらえる。

地域における居場所のあり方、地域における青少年の居場所の設置、運営に対する行政支援、公共施設を利用する場合の課題の整理、具体的な運営方法等について現在検討している。

今後の青少年健全育成の柱の一つとして取り組む。

青少年の問題行動について、学校、家庭、地域社会の連携を図りなが

ら、青少年育成センターを中心に継続的な指導を現在行っている。

平成19年度は、地域のヤングリーダー養成事業ということで中学生を含む地域の青少年を対象にしたボランティアリーダー講座を開催する予定である。



中学生の部活動のようす

問

### 市環境美化条例の見直しを

答

### 早い時期に見直し、整理を行う



桜が丘団地入り口 (中島)

問 町をきれいにしておく意識やマナーを高めていかなければ、本当に住み良い町や環境にならない。

答 マナーの向上や啓発のために看板の設置、また広報紙などを通じて啓発を行っているが、十分な成果が上がっていない。今後、できるだけ早い時期に条例また規則の見直し、整理を行い、環境美化に努める。



松田 勲議員

問 桜が丘西1丁目から、中島交差点に降りる約700mの両脇の歩道は、上下線とも幅がかなり狭くアップダウンが多い。舗装状態も大変悪く、危険な状態となっている。

答 市から積極的に働きかけ、安全確保のための歩道整備やガードレールの設置を強く要請すべきではないか。また、早急に県と一体となって取り組んでいくべきではないか。

桜が丘団地入り口の歩道整備について

また、県道岡山吉井線についても、現在歩道の整備の要請をしたところである。あわせて早期着手ができるように引き続き要請をしていきたい。

問 立派な施設が完成しご苦労を頂いた関係者の皆様に敬意を表したい。問題はこれからの運営の仕方である。市のお荷物にならないよう積極的PRが必要である。

答 具体的に現在県と調整をしているところである。前向きな回答を得ている。概略設計をお願いしたところ、今年度やるという回答もいただいている。来年度の国の補助金ベースに乗れば、来年度から用地買収、工事に取り組める。

職員・議員もパンフレットを持ち、セールスマンの気持ちで努力すべきではないかと思うがどうか。

答 利用者は市内外から1日平均22人である。来場者の多くが芝コースのオープンを待っている。早い時期に全面利用できるようにする。PRは、協会・関係団

問 本市の実行計画の内容と進め方はどうか。

答 地方公共団体の全てで、事務および事業に關し温室効果ガス排出抑制のため、実行計画を策定し、排出量の削減に取り組んでいる。

問 グラウンドゴルフ場 来場者の意見を取り入れよ 改善点を把握し 対応していく

問 市環境美化条例の見直しを 早い時期に見直し、整理を行う



市民手作りのスティック立て (グラウンドゴルフ場)



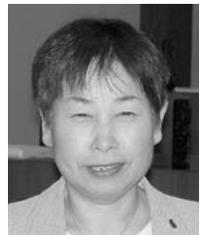
海野雅之議員

問

早急にごみ減量化計画の策定を

答

一部事務組合で今後策定したい



福木京子議員

問 赤磐市では、ごみ減

量化に努力しているが、北部衛生組合もごみ減量化計画を早急に策定すべきではないか。その際、協働のまちづくりの観点にたつて、市民の意見が反映できる組織を早急につくるべきだがどうか。

答 今後減量化計画をぜひとも策定したい。審議会等の組織は、現状では

考えていない。

現在の3市1町の協議会で十分広域ブロックの取り組みについて検討していく。結果は広報紙等を通じてお知らせする。

国保の財政基盤の確立を

問 国が市町村国保に対する国の支出比率を下げ

たことが、高過ぎる国保税をつくつてきた。

ごみ分別作業

全国市長会も、国保の財政基盤を確立するべく抜本的な財政措置を講ずるという意見を上げている。国に強力に意見を上げる

とともに、市としても国保会計への予算増額に努力すべきだがどうか。

答 全国組織の関係機関を上げて、国に対して国保財政の安定と制度改正等強力に要望していく。

最低保障年金制度創設を

問 昨年11月市長会としても最低保障年金を含めた年金制度の検討と見直しを国に要望している。もっと強力に働きかけてもらいたいがどうか。

答 最低保障年金制度の創設は、財源の確保が難しいと考えるが、将来に向けて持続可能な年金制度とするため、この制度の創設も含め議論を行うい、適切な見直しを行うよう要望しており、再度要望する。

問 「地産地食」の自治体宣言を

問

市では考えていない

答



川澄章子議員

丘給食センターは米・卵・豆腐の入荷が主になっている。熊山と吉井給食センターでは地元産の果物・黒豆・ナス・キウイ等の多種の野菜を入荷している。

運営委員会も一本化して、今後は地産地消の推進をやっていく。産直センターは8カ所あり、2100戸が関わっている。整備にも取り組みたい。

消を進める。タクシー券の利用拡充を

問 地域格差を考えると一回一枚の制限をはずして全部使い切れるようにするのが、看板だけに終わらない施策だ。なぜはずせないのか。

答 基本的に初乗り料金助成制度だ。同乗者も使えるように改正する。

障害者施設・作業所の運営に助成を

問 入所施設に入れたくないとがなばっている10

人以下の施設や、作業所は人件費や修繕費などで運営が大変だ。市の負担金を考えればもっと助成をして支援すべきではないか。

答 障害者の方がこの地域で安全・安心して暮らせるよう前向きに検討する。



市内直売所(馬屋)



チャイルドシート

また、今年度から団塊の世代といわれる人達の退職も始まり、赤磐市でも今後3年間で50人余りが退職する。この人達の後を埋める人材の登用にも、即戦力としての民間からの中途採用を考えてはどうか。

**問** 民間の会社などで長年培ってきた豊かな知識や経験を行政の現場で生かしてもらえないような人材の登用を図れば、職場の活性化にもなり、行政改革の一助にもなるので

**答** 団塊の世代の大量退職が始まり、優秀な人材確保も可能になってくると思う。また、市内に優秀な人材で、埋もれている人も数多くいると思う。このような人の力を借りられれば、その技術力はもちろんのこと、即戦力として、また民間的な視点で有効な業務改善が期待できるなど、職場の活性化にも寄与することが考えられる。

## 問 民間からの中途採用を考えよ

## 答 優秀な人材の確保を図っていききたい



岡崎達義議員

はないか。

**問** 子育てに不安のあるお母さん方が多い中、育児の経験が豊富な高齢者の方に一時保育をお願いしてはどうか。

と思う。

**答** シルバー人材センターの会員は子育ての知識と経験が豊富であり、独自の事業も可能だろうと思う。

### 子育て支援

採用にあたって、人件費の削減は行財政改革を行う上で至上命題であるから、今後採用方法についても検討をしたい。

**問** 乳幼児の子育て補助器具、例えば、ベビーバス、ベビーベッド、乳母車、チャイルドシートなどを市が民間よりも低額で貸し出してはどうか。

**問** 市内防災マップが各家庭に配布された。土砂災害に関しては、危険箇所・危険区域が細かく明示されている。浸水に関するマップは、いつ完成するか。

また、行動の困難な高齢者や身障者への対応をどうするかは、集落全体で考えておかなければならない。共通認識を持つよう

## 問 今後はどうするのか防災啓発活動

## 答 洪水や地震のマップ、要援護者台帳を整備



下村 脩議員

に、市が積極的に仕掛ける必要があると思うがどうか。

**答** 防災マップは、市内の広範囲の状況を知らせるとともに、日頃の備えにより災害を未然に防いだり減災に役立ててもらうため作成した。洪水ハザードマップと地震ハザードマップは、今年度中に作成する。

要援護者対策は、今年度に災害時要援護者登録台帳を整備し、状況把握をする。

地域共助が重要であり、各地域で協力的体制に取り組みてもらいたい。市は積極的に協力する。



年金手帳2種

**問** 年金加入者不明問題からの調査や証明依頼に、市はどこまで対応できるのか。

**答** 平成9年1月より、公的年金制度で、1人1番号にまとめられた。国民年金の保険料徴収事務を市町村が行っていたときの記録は、現在も市で保存している。調査協力は、社会保険事務所からの問い合わせのほか、個人からの問い合わせに対して、できる範囲で十分な協力をしていきたい。

### 問 指定管理者制度導入後の問題点は

### 答 複数の公募をして選定していききたい



藤田圭右議員

**問** 指定管理者制度の導入後、約1年になる。導入にあたって問題点もあつたが、現時点での状況を以下4点について質問する。

各施設の経営状況はどうか。

各施設の常勤者、非常勤者の労働条件はどうなっているか。

各施設でのトラブル、苦情などはあつたかあったか聞きたい。

管理者選定にあたっては、馴れ合い的要素を排除するために透明性、公平性を確保するために公募要件の改善を図るべきと考えるがどうか。

**答** 施設管理費については、「山陽総合福祉センター」が、1136万円9982円、赤坂「春の家」が349万5085円を事業確定により指定

管理料として支払っている。山陽生きがいセンターは実績に基づき2万9270円の指定管理費を支払つた。

あかまつ荘は70万円、つつじ荘は40万円の赤字決算になっている。

社会福祉協議会の介護事業は、山陽、赤坂を合わせて

職員数は正規職員14人、非正規職員32人で運営している。介護事業関係の給料は、正規職員で手当て賞与を含めて平均月額30万円前後、嘱託で15万円、23万円、パートは時給800円、850円、臨時職員は12万円、14万円である。

市では聞いていない。参考だが、社会福祉協議



山陽総合福祉センター

会が行っている介護事業について18年度アンケート調査の結果は、大変満足・満足と答えた人が全体で96パーセント、やや不満と答えた人が4パーセントという結果になっている。

**問** 市長は、議会に説明する前に、何人もの人に対して具体的な方法と場所をあげて、墓地建設事業を推進しようと思つている、との話をされたと聞く。

**答** 今後、担当委員会や議会を無視して公共墓地建設事業の推進を強行するつもりなのか。

**答** 本年2月の厚生常任委員会に公共墓地整備計画の検討に伴うアンケート調査の概略を報告した。その分析結果を取りまとめたので、今期厚生

### 問 どうするのか 公共墓地建設事業

### 答 費用は受益者負担で



小田百合子議員

常任委員会に報告して意見を伺う。

**問** 墓地を造るためにかかる費用は莫大で、相場で売れば差額の負担は市民の税金である。

**答** 現在の赤磐市は公共事業をいかに見直し、削減していくか考えなければならぬ時で、不要不急の事業の推進を論じる市長の政治姿勢を疑うがどうか。

**答** 造成してかかった事業費は、区画数で割れば単価が出るから、それを必要な人に買ってもらい、市の財源は投入しない。これは受益者負担でと考えている。

### 市立熊山病院

**問** 夕張市では地域

医療に必要な市立病院を潰さないために、診療所にして公設民営化の道を選んだと厳しい努力の様子をテレビ放送していた。赤磐市でも大きな赤字で同じ悩みを抱えているが、民営化の道も含めどう考えるか。

**答** 5月31日、熊山病院運営委員会に対して運営改善の諮問をした。地域医療を担当する公的病院として民間病院との差別化を図りつつ、市民に必要とってもらえる病院をどう位置づければよいか、平成19年度末には今後の方向性を出していく。



介護予防講演会での運動教室



井上稔朗議員

### 問 赤磐市情報化計画の策定は どうするのか

答 20年度以降に策定する

問 赤磐市の情報化についてどのよう  
に計画策定し実施する  
のか。平成22年度まで  
にブロードバンドゼ  
ロ地域を解消する  
国・県の方針を受け、  
赤磐市はどうする  
のか。

ロードバンド等の活用はどうか。

答 世帯の点在している  
広範囲な地域に光ケ  
ーブル等有線を利用  
したサービス提供に  
は膨大な費用と維持  
費がかかるので、  
ワイヤレスブロー  
ドバンドの可能性  
について検討中  
である。

また公共ネット  
ワークの活用や投資  
効果を考慮し、例  
えば工業団地等を  
優先整備するなど、  
今後具体的な検討  
を行う。

問 18年6月の定  
例会で市の目標は100  
パーセントブロー  
ドバンド提供地域  
にする事で、最善  
の努力をするとの  
答弁だったが、そ  
の具体的な成果は  
何か。



電波イメージ図

2000世帯が残る。

住民、企業の需要把握はできているのか。

また公共ネットワー  
クを開放するつもり  
はあるのか。

答 目に見える成果は  
出ていない。

今後何らかの方法で  
整備に向け努力す  
る。

情報化計画について  
要の内容や実態の把握  
を20年度以降行  
い、公共ネットワー  
クの開放も踏まえ  
て整備の必要性や  
整備方法を検討す  
る。またITを利用  
した福祉、教育、  
地域振興についても  
計画に反映する。

問 今までに一般質  
問した交通対策  
、備作高校跡地活  
用、直売所建設、  
農業振興、吉井川  
堤防嵩上げ、砂川  
改修、広域ごみ計  
画、熊山駅周辺整  
備についての実  
行性はどうか。

### 問 財源不足脱却のため 企業誘致を進めよ

答 積極的に企業誘致  
に取り組む



北川勝義議員

問 今までに一般質  
問した交通対策  
、備作高校跡地活  
用、直売所建設、  
農業振興、吉井川  
堤防嵩上げ、砂川  
改修、広域ごみ計  
画、熊山駅周辺整  
備についての実  
行性はどうか。

答 遠距離通学支援は  
要綱を策定し、スク  
ールバス運行や遠  
距離通学費補助を  
行う。定時制高校  
の認可を再度県へ  
強力に申し入れる  
場所。立川の親水  
公園とし、前向き  
に取り組む。是里  
ワイナリーは焼酎  
の醸造等、十分意  
見を尊重し慎重に  
取り組む。集落営  
農は集落の特性に  
応じた組織作りを  
推進する。地産地  
消として学校給食  
へ赤磐産の食材を  
活用する。国・県  
に要望する。国・  
県から早急な対応  
を要するとの回答  
があった。早急に  
県と交渉する。本  
年度中に規模・箇  
所について結論を  
出したい。基本構  
想を策定し、整備  
に取り組む。

問 行財政改革につ  
いて財源不足から  
の脱却を図るため  
企業誘致を積極  
的に進めて行く  
べきと思うがどう  
か。

答 積極的に企業誘  
致を行い、雇用の  
場・税収入の確保  
を図る。

問 一般競争入札の  
導入について、市  
の考えは。

答 20年1月には  
制限つき一般競争  
入札の試行を入  
りた。

問 公共墓地の現状  
は。

答 地域の意見を  
十分聞き、理解が  
得られれば早急  
に取り組む。

問 葬祭センターの  
建設はどうか。

答 J Aと協議し、  
前向きに取り組  
みたい。市政につ  
いて機構改

革の効果はどうか。  
答 今後効果が十分  
あらわれるよう努  
力する。

問 現在実施してい  
る指定管理につ  
いて利用状況等  
の現状は。今後  
についての考え  
は。業者に払い  
下げはどうか。

答 9月3月までの  
間で、あかまつ  
荘では1795人  
利用。つつじ荘  
では10室とも満  
室である。あか  
まつ荘、つつじ  
荘は21年3月  
までの指定管理  
だが、次回は公  
募により指定管  
理をしたい。地  
方自治法上無理  
がある。

問 サッカー場につ  
いて調査費が計上  
されているが、現  
状はどうか。

答 候補地として  
桜が丘西地域で  
可能かどうか調  
査等検討中であ  
る。引き続き建  
設場所等につ  
いて検討を進め、  
早急に場所を決  
め絵をかかせたい。



熊山工業団地

# 5月臨時会の あらまし

議長に黒崎明氏  
副議長に羽原章氏を選出  
各種委員会構成決まる

今回赤磐市議会では、議長に黒崎明議員、副議長に羽原章議員を選出した。

続いて赤磐市議会委員条例に基づき議員26人の各常任委員会の所属を決め、正副委員長の互選を行った。

その後議会運営委員会の委員および下水道整備等調査・交通問題調査・議会広報編集の各特別委員会の委員を選任し、それぞれ正副委員長の互選を行った。(関連記事18・19ページ)

また、各種一部事務組合議会議員を選出した。(関連記事19ページ)

## 議案審議

### 赤磐市監査委員選任同意

監査委員選任をめぐって

臨時会を5月10日から11日まで、2日間の会期で開催した。  
議長・副議長の選出、各常任委員会などの構成をはじめ、同意案件1件を同意、承認案件4件を承認した。

はあるか。

**答** 議会の中から選任であり、これを尊重して提案した。県内15市を調査。除外対象となる監査委員の選任は、代表監査委員で3市、議会代表では2市の例がある。

**問** 法的にクリアできても赤磐市は独自でやればよい。提案の道義的責任をどう思うか。

**答** 法的には違法ではない。道義的には問題があるのではなからうかと思う。議会からの推薦で提案した。

ていたところ、実質75万となり不足をきたした。

**問** なぜ年度末に気づかなかったのか。厳しい気持ちで点検すべきではないか。

**答** 医療給付費等の支払いは診療月から2カ月遅れの請求であり、予測が不十分であった。今後組織内の検討、打ち合わせ等で行うという事態にならないようやっていく。

**問** 医療給付費等の支払いは診療月から2カ月遅れの請求であり、予測が不十分であった。今後組織内の検討、打ち合わせ等で行うという事態にならないようやっていく。

**問** 市税条例の一部を改正する条例

**答** 市税条例の一部を改正する条例

**問** 市税条例の一部を改正する条例

**答** 市税条例の一部を改正する条例

**問** 市税条例の一部を改正する条例

**答** 市税条例の一部を改正する条例

**問** 市税条例の一部を改正する条例

本立てにより計画を策定している。限度額は上がるが、国保税を含め地方税の収納、整理に努める。

**問** 国保税が56万円へ上がる事になる。対象者数、増収の額・滞納への影響はどうか。

**答** 制限超過世帯は限度額53万の本年4月1日で251世帯で、8500世帯の2・95パーセント。5月1日56万円で試算すると169世帯となり、82世帯が限度額3万円に入る。8546世帯の中で約2パーセントである。税収増については単純には200万円となる。影響は実施後でない」と分らない。

**問** 国保税が56万円へ上がる事になる。対象者数、増収の額・滞納への影響はどうか。



次のとおり同意しました。

### 監査委員

小倉 博(穂崎)

## 産業建設常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	北川勝義
副委員長	実光守
委員	下村脩
〃	荻田敏正
〃	羽原章
〃	山下浩史
〃	小倉博

## 文教常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	井上稔朗
副委員長	海野雅之
委員	樫野志郎
〃	岡崎達義
〃	川澄章子
〃	松田勲

## 議会広報編集特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	岡崎達義
副委員長	井上稔朗
委員	羽原章
〃	下村脩
〃	藤田圭右
〃	海野雅之
〃	小田百合子
〃	大口浩志

## 議会運営委員会

役職名	議員氏名
委員長	小田百合子
副委員長	荻田敏正
委員	羽原章
〃	下山哲司
〃	武本一郎
〃	北川勝義
〃	井上稔朗
〃	実盛祥五
〃	岡崎達義

## 総務常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	下山哲司
副委員長	実盛祥五
委員	山田秀士
〃	黒崎明
〃	佐藤武文
〃	大口浩志

## 厚生常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	武本一郎
副委員長	福木京子
委員	森重信
〃	藤田圭右
〃	西山和嘉
〃	小田百合子
〃	小引美次

# 各委員会構成が変わ

## 交通問題調査特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	樫野 志郎
副委員長	萩田 敏正
委員	黒崎 明
〃	藤田 圭右
〃	西山 和嘉
〃	実盛 祥五
〃	武本 一郎
〃	下山 哲司
〃	福木 京子
〃	山下 浩史
〃	川澄 章子
〃	井上 稔朗
〃	北川 勝義
〃	小倉 博
〃	大口 浩志

## 下水道整備等調査特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	下村 脩
副委員長	松田 勲
委員	実光 守
〃	森 重信
〃	山田 秀士
〃	海野 雅之
〃	羽原 章
〃	小田 百合子
〃	武本 一郎
〃	下山 哲司
〃	岡崎 達義
〃	佐藤 武文
〃	小引 美次
〃	井上 稔朗
〃	北川 勝義

## 一部事務組合議会議員 (敬称略 / 年令順)

### ■ 柵原吉井特別養護老人ホーム組合

森 重信 海野 雅之  
西山 和嘉 下山 哲司

### ■ 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合

森 重信 西山 和嘉  
福木 京子 小引 美次

### ■ 東備農業共済事務組合

実光 守 萩田 敏正  
北川 勝義 小倉 博

### ■ 和気北部衛生施設組合

武本 一郎 佐藤 武文  
山下 浩史 北川 勝義

### ■ 和気・赤磐共同コンポスト事務組合

藤田 圭右 北川 勝義  
小倉 博 松田 勲

### ■ 柵原、吉井、英田火葬場施設組合

実光 守 西山 和嘉  
下山 哲司

### ■ 和気老人ホーム組合

下村 脩 実盛 祥五



# 議長あいさつ

議長 黒崎 明

このたび、5月の臨時会におきまして、議長に選任いただきました、黒崎明でございます。

前山田議長の後を受けてまして、これからの2年間、この重責を務めてまいります。

どうかよろしくお願いいたします。

4町が合併し、誕生しました赤磐市は、多くの課題に対し、市長を先頭に、日々努力を重ねております。

特に、住環境の整備の中で、最大の事業である下水道の整備も着々と進行しており、初めの計画より、早く使用できる地域が、かなり広範囲となつてまいります。

また、それぞれの地域の特長を生かしながらの市民一体感の醸成は、しだいに効果が表われつつあ

るように感じております。

しかし、ご承知のように、赤磐市も、他市町村同様に、行財政のスリム化の必要性を、きびしく指摘されております。

今後は、その重要性、緊急性を充分に吟味し、事業の選択をして行かなければなりません。

希望ある赤磐市の未来をつくるためにも、議会と執行部は、適度な緊張感を保ちながら、共に前

進して行かなければなりません。

議長として、議会制民主主義を守り、公正かつ公平な議会運営に、精一杯努力してまいります。

議会改革に対しても、議会全体で、勇気を持って取り組んでまいります。

まず、今年度中に、議員の定数問題に取り組みます。

近隣の類似市の動向等も、参考にしながら、市民の皆様にご理解いただける定数を、定めてまいります。

最後に、ありがとうございました。

が、議会に対し、常日頃のご支援とご理解に感謝申し上げます。



## 行政視察に来庁 兵庫県篠山市議会

7月4日、赤磐市誕生への合併協議が進んでいた頃、ご縁のあった兵庫



県篠山市議会産業建設委員会一行10名の来庁がありました。

ミックス事業（共同汚泥処理施設）の取り組みについての行政視察。篠山市ではすでに水洗化率85パーセントとか。汚泥処理施設は公共2、特環8、農排14など合計27施設が稼動しており、今後さらに運営の効率化をはかるため、ミックス事業導入の調査、研究をされている。

吉井浄化センターはじめ、当市の状況、また広域での和気赤磐し尿処理施設、コンポストセンターでの取り組みなどについて熱心な質疑があり、篠山市の熱意を感じた視察でした。

## 9月定例会のお知らせ

次回9月定例会は、9月3日から9月27日まで、25日間の会期で開催予定です。

多くの皆様の傍聴をお待ちしております。



## 編集後記

今回から広報委員が3名交代し、新しい体制で編集に携わってまいります。

新市が誕生し2年が経過してなお課題山積の中、この3月には行財政改革審議会から18億円という歳出削減も提言されています。

そのような中で、できるだけリアルに議会と執行部のやりとりをお知らせできればと考えています。

議会広報も一方通行では進展はありません。是非市民の皆様のご意見をお聞かせ願いたいと思っております。

## 議会広報編集特別委員

委員長	岡崎 達義
副委員長	井上 稔朗
委員	藤田 圭右
委員	下村 章
委員	羽原 脩
委員	海野 雅之
委員	小田百合子
委員	大口 浩志